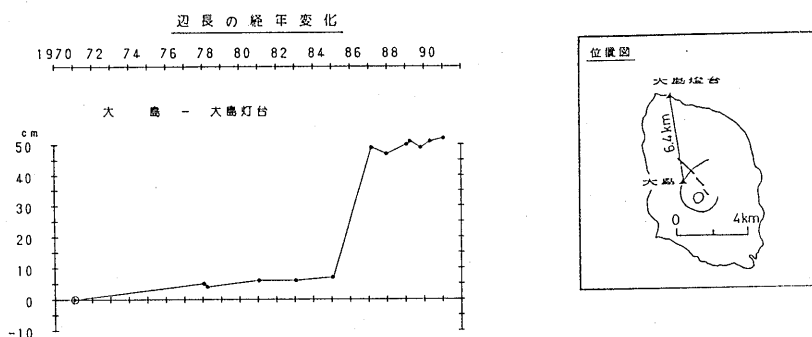


伊豆大島の地殻変動*

国土地理院

第1図は1990年12月に実施した大島—大島燈台間の距離測量結果である。最近の変動は1986年噴火以前の状態に戻ったようで、およそ5mm/年の早さで距離が伸びている。

測定年	1970	'70	'71	'78	'80	'82	'84	'87	'88	'89	'89	'90	'90
区間	3	12	12	2	12	12	12	1	12	?	9	9	12
大島～大島燈台	6381	.90	.95	.94	.96	.96	.97	2.39	.40	.41	.39	.41	.42

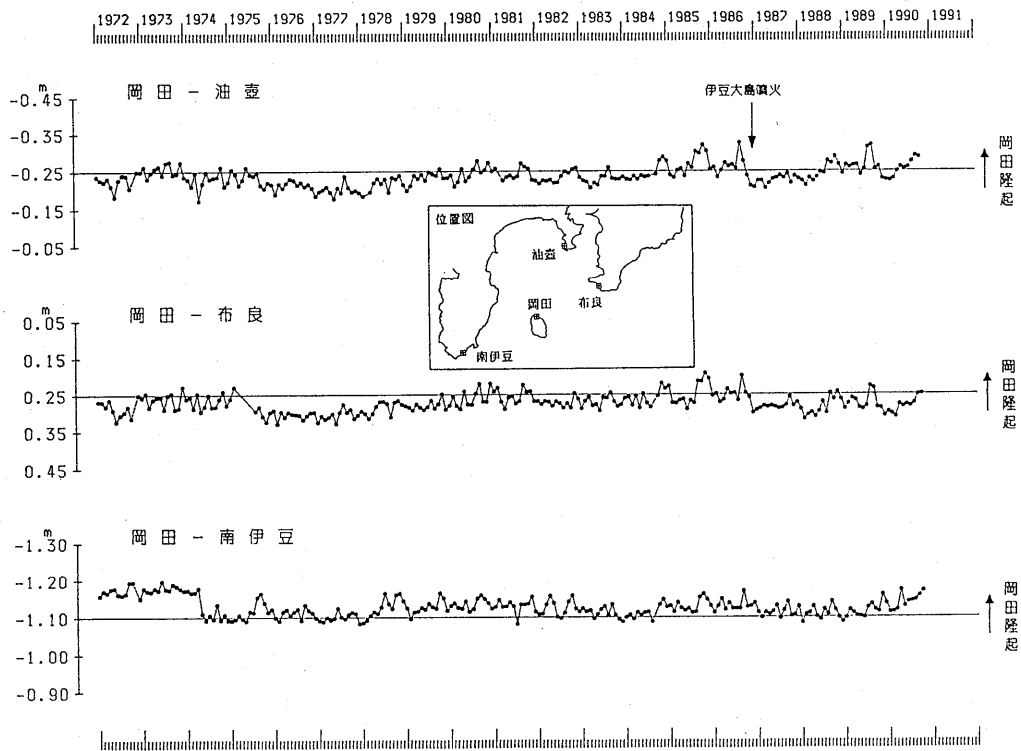


第1図 大島—大島燈台間の距離変化

Fig.1 Result of precise distance measurement between Oshima and Oshima light house.

第2図は岡田と油壺，布良，南伊豆実験潮場間の月平均潮位差である。1990年後半に岡田が10cm地殻隆起したように見えるが、これは海象による見かけの変動であろう。

* Received 25 Apr., 1991



第 2 図 岡田・油壺・布良・南伊豆験潮場間の月平均潮位差
(海岸昇陸検地センター「潮位年鑑」による。)

Fig.2 Differences in monthly mean sea level changes
between the Okada, Abura-tsubo, Mera and
Minami-Izu tidal stations.